



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、 7-16 Sugawara-cho、 Kawagoe、 Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 20-05

11月号

発行2018年11月10日

Chartered 1998

会長	森下 千恵子	クラブ会長主題	「ワイズメンズクラブを楽しもう！」
副会長	松川 厚子	国際会長主題	“Yes, we can change” [私たちは変えられる]
会計	山崎 純子	アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」
書記	吉野 勝三郎	東日本区理事主題	「成せば、成る」 No challenge, No fruit.
		関東東部部長主題	「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」

11月の聖書

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで、神は真実な方です。あなた方を耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

コリントの信徒への手紙一 10章13節

No temptation has seized you except what is common to man. And God is faithful; he will not let you tempted beyond what you can bear. But when you are tempted, he will also provide a way out so that you can stand up under it
(Corinthians 1, 10-13)

2018年10月の統計 (10月20日)

在籍11名 出席者9名(含むMU)出席率 82%

2018年 11月 例会予告

日時：11月24日(土) 午後4:00-6:00

場所：埼玉YMCA川越センター

議題

- ・川越クラブ20周年記念例会の内容
- ・「紅あか」販売の現状
- ・関東東部評議会報告
- ・その他

10月例会の報告

2018-2019年度川越クラブ 書記 吉野 勝三郎

この月は、10月20日(土)に埼玉YMCA所沢センターで、所沢クラブの例会に合流する形で開催しました。10月15日(月)には、インド・ハイデラバードのBF代表、タイ・チェンマイの副総主事夫妻を迎えての交流会が同じ場所で開催されたばかりでの例会となりました。

川越クラブは、所沢クラブの例会が始まる前に会合を持つ予定でしたが、出席者の都合で、川越クラブ単独の例会を持つことはできませんでしたが、次回11月例会の日程を11月24日(土)とすることは決めることができました。

所沢クラブでは、「クラシック音楽を身近に感じ、新たな出会いを」というテーマで、ヴァイオリニストの高橋かおりさんと物井彩さんからの分かりやすい解説で、クラシック音楽を楽しむことができました。

所沢クラブは、例会の最後に、当月の誕生日・結婚記念日を祝う習慣があり、我々川越クラブのメンバーの該当者も贈り物をいただきました。ありがとうございました。



第19回チャリティ・ランと埼玉3クラブ例会 の参加報告

森下 千恵子

11月3日、所沢、航空記念公園で第19回チャリティ・ランが開催されました。川越クラブからは吉野さん、利根川太郎さん、恵子さんご夫妻、山本さんと奥様にノアちゃん、マナちゃんのご家族が参加しました。

天気も秋晴れです。主催側のあいさつの後準備体操をしていよいよランの開始です。今年の川越はA、Bの2チームがエントリーしました。わが川越ワイズメンズはAチームで山本さんの家族と吉野さんが走りました。第1走者は女性と決まっています。ノアちゃんが走りました。山本さんが小さいお子さんのマナちゃんの走りを心配し、奥さんが山本さんの体調を心配するという場面がとても微笑ましい光景でした。吉野さんも素晴らしかったですね。私はもう走るのは無理と思っていましたが吉野さんを見て勇気をいただきました。

私は利根川夫妻とともに個人部門でウォーキングにエントリーしました。3周歩くと申告していざスタート。前はみんな結構早かったなあと思っていざスタートすると、あれっ、みんな遅い。一番遅かった利根川夫婦が実行委員会特別賞（個人）をとっちゃうってどういうこと？まあ、仲良きことは美しきかな。楽しんで参加することが良いということでしょう。その他所沢クラブの大澤さんはおしゃべりをしながら一周余分に歩いてしまったそうです。

記録の発表と賞の授賞式。川越チームは賞は取れませんが、川越クラブが提供した「紅あか芋」は所沢クラブが二箱持っていきました。お楽しみラップルズは参加できないので寄付にしていた吉田公代さんが二つも当たりました。

チャリティ・ランのあとは関東東部部会の反省会を兼ねてということで所沢市民会館内のミュージズレストランで3クラブ合同例会を開催しました。参加者は川越クラブから利根川夫妻、吉野さん、山本さん私森下、所沢クラブからは澁谷会長、大澤さん、小関さん、埼玉クラブから衣笠関東東部部長、小林さんが参加しました。あとからチャリティ・ランの実行委員長の池田美智子さんも加わってにぎやかな会になりました。まず参加者の近況報告や各クラブの活動報告をしました。関東東部大会を振り返っての感想には地域ユースと大学ユースの交流が挙げられ、今までなかったことであり、お互いの交流の接点をもうけられたことに高い評価がありました。日本各地の災害地については引き続きの支援の報告もありました。川越クラブは「チャリティ・紅あか芋」「設立20周年記念式典」の4月開催についてアピールいたしました。

ミュージズレストランを出ると秋風と疲労感が心地よかったです。



チェンマイ YMCA 副総主事チュララさんご夫妻 と日光へ

利根川恵子

去る10月13日〔土〕に、縁あってチェンマイ YMCA 副総主事チュララさんとマントリーさんご夫妻を、紅葉の始まった日光にご案内することができました。

チュララさんとは、川越クラブがチャーターして間もなく、当時の川越センター館長だった佐藤恵美子さんの計画立案でタイ・スタディツアーが実施され、その際にチェンマイ YMCA ホテルに滞在して、初めてお目にかかりました。当時からチェンマイ YMCA の中心になってご活躍で、スタディ・ツアーに同行してくださったバンコク YMCA のパニさん（女性）、佐藤さんを含め、YMCA で生き生きと活躍する女性の姿を目の当たりにして、うれしく思ったのを思い出します。

その後、2015年12月に次期理事研修会がチェンマイ YMCA ホテルで開催され、その年の渡辺隆、遠藤通寛東西次期理事の通訳でチェンマイを再訪し、チュララさんとも久しぶりの再会となりました。すでに副総主事に就任なさっていて、YMCA の事業ばかりでなくホテルや売店の運営まで、テキパキとなさっていて、大変お世話になりました。

そして直近は、昨年のチェンマイにおけるアジア太平洋地域大会です。大会実行委員長のドクター・パットと両輪となり、地域大会を仕切っていらっしゃいました。ちょうどチュララさんはチェンマイ・ワイズメンズクラブの会長でもあり、大会開催中にオーストラリアのカンガルー・フラット・ワイズメンズクラブとIBCの締結をするなどまさに YMCA とワイズの両面

t

でのお働きに注目いたしました。

チェンマイ YMCA およびチェンマイ・ワイズメンズクラブは、学生 YMCA と協働して、環境問題に積極的に取り組んでおり、フェイスブックにしばしばその活動の様子が掲載され、若者と一体となった展開は憧憬に値します。うらやましい限りです。

さて、今回の日光日帰り旅行は、チェンマイ YMCA にボランティアとして奉仕なさった河合今日子・川越センター館長からご相談があり、たまたま 13 日は夫婦揃って時間が取れたので、チュララさんご夫妻のご希望である日光訪問の案内役を買って出た次第です。河合さん曰く、「奥さんが前に積極的に出て、ご主人が後ろという感じが利根川さんと似ています。」というコメントを伺ったり、マントリーさんが 4 年前に警察官を退職されていて、夫と境遇が似ていたり、という点が重なって、とても親近感を持ってお二人に同行しました。

ちょうど紅葉シーズンの始まりで、土曜日ということもあり、車は諦め、新幹線と在来線乗り継いで日光へ行きました。天候にも恵まれ、気持ちのよい日でしたが、在来線に乗っているのはほとんど外国人の旅行者という光景には少々驚きました。

日光到着後、宇都宮クラブの大久保宏和さんご紹介の「明治の館別館・游晏山房」で昼食となりました。日本で初めて蓄音機・レコードの製造販売を行った日本蓄音機商会（日本コロムビアの前身）を創設し「日本における蓄音機の父」と呼ばれるアメリカ人 F.W. ホーンの別荘が「明治の館」と言うレストランになっており、当時の使用人のお部屋であった建物を改造して作ったのが「游晏山房」です。木立に囲まれて、観光客で賑わう喧噪を忘れて食事を楽しみました。

いよいよお目当ての東照宮見学です。かなり混んでいましたが、三神庫の「想像の象」、神厩舎の三猿、陽明門、唐門、眠り猫、奥宮、鳴竜と何とかご案内ができました。日本が初めてというマントリーさんが、すべてをカメラに収めたいと、とにかく写真をたくさん撮っていらしたのが印象的でした。

時間の関係で中禅寺湖や華厳の滝までは足を伸ばせませんでしたので、是非またお出でいただいて、日光の魅力をさらに味わっていただきたいと願っています。幸いお二人で 10 月 15 日（月）のインド・ハイデラバード・ワイズメンズクラブを交えての 3ヶ国交流イベントにもご参加いただき、川越クラブのみならず所沢、埼玉クラブのみなさんとも親交を深めていただきました。これからも交流が続き、元気なチェンマイ YMCA やチェンマイ・ワイズメンズクラブのパワーをいただけることを祈ります。



明治の館



游晏山房での昼食



タイ・チェンマイクラブのミニバナーを頂戴しました。

「紅あか」販売にご協力をお願いします。

今年は、出足が鈍いです。さまざまな機会を捉えて、

t

拡販にご協力下さい。収益は、埼玉YMCA川越センターの活動のために献金します。



紅あか金時チャリティーでYMCA 支援活動の川越ワイズメンズクラブ

チャリティー「川越イモ紅あか金時」

故・工藤徹さんが始められたチャリティー「川越イモ紅あか金時」販売は、昨年も皆様のご協力により継続することが出来ました。今年もまた、引き続き行っていきますので、よろしく願いたします。

川越ワイズメンズクラブは、学校になじめない子どもを守り育てる放課後等デイサービス・クラブなど埼玉YMCAの社会事業を支援しています。その為のファンドに3百年伝統の名産「川越イモ紅あか金時」を輪流販売しています。今年も予約をお受けしていますのでよろしく願いたします。おイモの嫌いな方は1口500円のチャリティー歓迎です。

5kg (運賃込み) 2,950円 / 1箱
10kg (運賃込み) 5,050円 / 1箱

注意点: サイズはM・L・LLの混合となります(サイズ指定はできません) 手渡しはなく、すべて発送にさせていただきます 収穫は11月上旬からのため、発送はそれ以降となります 関東以外の遠隔地においては別途送料1000~5000円かかります。

注文先: 川越クラブ 利根川 太郎、山崎 純子
住所: 〒350-0046 川越市菅原町 7-16 埼玉 YMCA
TEL: 049-226-2491 / FAX: 049-226-2304
メール: kawagoysmensclub@yahoo.co.jp
下記の注文票を川越クラブ利根川宛にメール・郵送・FAX等でお送り下さい。

【紅あか金時注文票】

5kg→ 箱()円 / 10kg→ 箱()円

チャリティー→ ()円 / 合計→ 箱()円

(発送後、請求書をお送りしますのでお振込みください)

注文者氏名: _____
住所: 〒 _____

電話番号: _____
メールアドレス: _____

発送先 (上記と同じ場合は記入の必要はありません。請求書は注文者に届きます。)

発送: 5kg: 箱、10kg: 箱

氏名: _____
住所: 〒 _____

電話番号: _____

[発送先が複数になる場合は、この用紙の裏もご利用ください]

YMCA 報告

●11月3日に航空記念公園で開催されましたチャリティーランが無事に終了いたしました事をご報告いたします。

開催にあたっては、5月より実行委員会で準備を進め、企業、団体、地域の協力者、会員、リーダー、保護者、講師、スタッフ等、多くの方のご協力のもとに無事に

終了できました。来年の第20回大会に力強く繋げていけるよう今後ともご協力をお願いいたします。
<添付>

●《冬春プログラムガイド(キャンプと水泳・体操講習会) 申込受付中》

冬休み、連休、春休みと、寒さを吹き飛ばすプログラムのラインナップです。すでに受付が始まっています。お申し込みご希望の方はお早めに！
パンフレットのダウンロード↓

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2018/20181017winterguide.pdf>

第19回 埼玉 YMCA



インターナショナル・チャリティーラン 2018 ご報告



皆様からお預かりした支援金は、障がいのある子ども達の為に大切に使用させていただきます。ご協力くださった企業・団体・個人の皆さま温かなご支援 ありがとうございます。

開催日: 2018年11月3日(祝・土)
場 所: 航空記念公園
参加者: 30チーム ランナー1165名 観衆約50名
ボランティア: 100名 来場者: 100名
支援金: 1,227,852円(11/3時点)

編集後記

川越クラブのチャーターから既に20年も経ったのかと、感慨無量です。私は、転職先の勤務地が川越市内だったことから、川越クラブとの縁が生じて現在に至っています。自分の住む川口市よりも、川越市に親しみを感じています。私の所属するキリスト教会の今月の月報には、YMCAを紹介する記事を投稿しました。

(KY)